



第44号  
2018年4月発行

発行元  
医療法人吉備会  
中谷外科病院  
患者サービス向上委員会  
委員長 中谷紳

〒706-0001  
玉野市田井 3-1-20  
TEL 0863-31-2323  
FAX 0863-31-8486

ホームページ  
<http://www.nakatani-hosp.jp>

Eメール  
[Goiken@nakatani-hosp.jp](mailto:Goiken@nakatani-hosp.jp)

外来診療時間  
月～金 9:00 ～ 12:00  
15:30 ～ 18:30  
土 9:00 ～ 12:00

#### <中谷外科病院 基本方針>

- I : 常に患者様の立場に立ち、行動する。
- I : 消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- I : 多職種によるチーム医療の充実をはかる。
- I : 在宅復帰を支援し、地域に開かれた医療を行う。
- I : 職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。

### 平成 30 年度を迎えて

新年度になりました。新たな出会いや環境、期待と不安に胸を膨らませるこの季節、初心に帰り元気に1日1日送らせていただきたいと思います。

さて皆様ご承知のように、桜満開の中、平成30年度診療報酬、介護報酬同時改定が行われました。今回改定のキーワードは「地域包括ケアシステム」です。このシステムの実施によりいわゆる団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される社会となるため様々な取り組みがなされるようになりました。

当院でも関連施設である特別養護老人ホーム「いこい荘」と連携して、患者様が安心して円滑に在宅復帰できるよう益々努力してまいり所存です。今年度も中谷外科病院職員一同は患者様とともに歩んでまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年4月吉日

理事長 院長 中谷 紳

### 外来担当医一覧

	月	火	水	木	金	土
午前	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨
	中谷 紳	中谷 紳	中谷 紳 (内視鏡)	中谷 紳	中谷 紳	坂田龍彦 第1,3,5
	伊藤雅典	坂田龍彦	坂田龍彦	西 英行	坂田龍彦	西 英行 第2,4
			石川 隆	鈴木健夫 (内視鏡)		杭瀬 崇
午後	伊藤雅典	中谷 紳	坂田龍彦	中谷 紳	坂田龍彦	午後休診

### 当院の在宅医療について

当院も「地域包括ケアシステム」を担っていく一病院として、今春から訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、訪問栄養を積極的に行っていく予定です。外来診療の合間の訪問になりますので、当面は当院から10分圏内で考えています。訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、訪問栄養をご希望の方は、いつでもお気軽にご相談ください。

地域医療連携室（相談員）山崎 早苗  
TEL:0863-31-2323



### 第 11 回院内研究発表会

平成30年2月17日(土)、当院の5階メバルサロンにおいて第11回院内研究発表会が開催されました。院内各部署の職員がそれぞれのテーマを決めて研究し、その研究成果を発表し討論を行いました。今回は、講演を含め9演題の発表がありました。日常診療業務に関する発表や医療安全に関する発表、そして昨年4月に導入した電子カルテについての発表など様々なテーマでの研究成果が発表されました。当院ではこれらの研究成果を今後の診療に役立てていきたいと考えています。(放射線部 大川 義弘)

演題	所属	発表者	講評
●岡山大学病院 杭瀬 崇医師 ★当院看護部長 新田 照美			
QC サークル活動について	QC サークル	若林 潤	●問題提起⇒改善案の検討⇒対策とわかりやすかった ★患者さんの立場に立ち組織横断的に問題解決をはかっている。PDCAサイクルを駆使していきましょう
電子カルテの評価と今後の課題	電子カルテ委員会	伊藤 弘司	●問題点と電子カルテに対する職員の意識がよくわかりました。使いやすさについては『どう使うか』が大きいと思います。 ★電子カルテは何のためにどう使うか？職員の意識とその使用状況をチェックし、内容を検討。
電子カルテを利用した職員間の情報共有 ～アンケートを通して～	電子カルテ委員会	山崎 早苗	★プロフィールの充実。電子カルテ導入前の情報共有方法を検討。
医療安全パトロール	医療安全委員会	坂本 弓子	●ヒヤリ・ハット⇒パトロールのチェックポイントをアップデートしていくとよい。 ★インシデント・アクシデントとそのチェックポイント分析により、パトロール内容を検討していきます。
肛門鏡を受ける患者の羞恥心を軽減するために	看護部 外来	高橋 理代	★患者目線による肛門科外来のスタッフ対応力をUPしていくこと。女性に特化した外来があってもよい
多職種間によるチーム医療の充実をはかる ～情報共有の検討～	多職種合同チーム	松本 英子	★現在、病棟カンファ、症例検討会等電子カルテに反映できていないもの、そうでないものがある。情報共有のためには電子カルテへの反映が課題
検査予定表カレンダー使用の現状	看護部病棟 A チーム	高田 志津	●カレンダーに書くのではなくシールにしておくのが良いと思います。 ★クリニカルパスの改善に取り組んでいくことが課題。
排泄援助における業務改善 ～より快適な入院生活を送っていただくために～	看護部病棟 B チーム	二宮 紗織	★排泄援助を患者目線でとらえています。患者目線での対応はこれからも続けていきたい。
当院における肛門手術の現状	診療部	中谷 紳	●非常に勉強になりました。 ★職員のモチベーションアップにつながります。

岡山大学病院 杭瀬崇先生(非常勤)より講評をいただきました。外部からの目での評価が非常に新鮮でした。  
(看護師長 新田 照美)



## くにお合奏団(弦楽演奏会)in 中谷外科病院

日時 :平成 30 年 4 月 3 日(火)13:30~14:10  
 場所 :当院 4 階リハビリ室  
 演奏者 :松崎 国生(編曲、2nd ヴァイオリン)  
 長坂 拓己(1st ヴァイオリン)  
 島田 玲(ヴィオラ)  
 柳橋 泰志(チェロ)  
 久保 司(コントラバス)



### 演奏曲目

1. 弦楽の為の祝典音楽
2. 弦楽四重奏の為のソナタ第 1 番第 1 楽章
3. MURA-MATSURI.16
4. きらきら星変奏曲.17
5. 喜ばしい日の為の奏鳴曲
6. 民謡メンバー for G7

4月3日(火)午後1時半より  
 リハビリ室において、くにお合奏団  
 の弦楽演奏会が開催されました。



演奏者は全員音楽の世界で生きていくことを決めた若きプロ達。2本のヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの5人編制でアンコールも含め7曲が演奏され、ご来場頂いたお客様の心を癒しました。

生でクラシック音楽の演奏会を聴く機会は皆様あまりないと思いますが、入院、外来の患者様とご家族以外にも介護関係施設の利用者様と職員様、中谷外科病院近隣の方など100名以上の方がお集まり頂き、リハビリ室も立ち見の方が出るほどいっぱいになり、大盛況のうちにあつと言う間に予定の40分が過ぎました。(ケアマネージャ 生口 一将)

## 研修医



笑顔の素敵な  
好川先生  
ありがとうございました。



2月に地域医療実習として1か月間研修させていただきました。未熟で頼りない私で沢山迷惑をおかけしましたが、スタッフの皆様、そして患者様にもあたたかく迎えていただき、大変うれしかったです。地域での日々の外来や入院、検査、他病院や施設との連携まで多岐にわたり経験させていただきました、とても充実した1か月となりました。

中谷外科病院は笑顔であふれ、患者様やスタッフ間との信頼関係がしっかり成り立っているのを日々実感し、私もこのような信頼関係を築ける医師になりたいと思いました。

皆様のおかげでとても楽しく1か月過ごさせていただき、離れてしまうのが寂しいですが、ろうさい病院に戻ってからも中谷外科病院での経験を生かして今後も精進して参ります。

1か月間本当にありがとうございました。

岡山ろうさい病院 研修医 好川ちひろ

## 院内勉強会

### 「摂食嚥下機能評価について」

日時:平成 30 年 4 月 12 日(木)14:00~14:45  
 講師:松本 英子(管理栄養士・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士・摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士)  
 対象者:看護師・看護助手  
 目的:様々なスクリーニングツールを用いて、摂食嚥下機能評価出来るようになる。  
 内容:摂食嚥下の解剖生理  
 摂食嚥下評価方法の概要  
 反復唾液嚥下テスト RSST・  
 改訂水飲みテスト MWST・フードテスト FT・  
 水飲みテスト(2人1組相互実習)



『Transdisciplinary Team』という言葉をご存じでしょうか?当院には言語聴覚士やリハビリ専門医など摂食嚥下障害治療の専門性の高い職種はいません。しかし今や肺炎は日本人の死因3位で、肺炎で亡くなる人の9割以上は75歳以上の高齢者とされ、中でも特に多いのが「誤嚥性肺炎」と言われています。当院では約2割の方が肺炎でご入院されています。そのような現状で専門職種がないから何も出来ない手を拱いてはいけません。

そこで当院では今いる専門職種で患者さまのニーズを満たすために、それぞれが役割を柔軟に変えていくという『Transdisciplinary Team』スタイルで患者さまの摂食嚥下機能の維持向上のために取り組んでいます。このチームをより良いものにしていくためには役割に対する柔軟な考え方、コミュニケーション技術、そして基本的知識と技術水準の高さが必要となります。そのために今回のように定期的に勉強会を開催したり、岡山大学の摂食嚥下リハビリテーション従事者研修会へ参加しています。現在までに初級コース10名、上級コース2名修了しました。今年度はさらに初級コース3名受講中です。

今後も引き続き、病院理念の『患者さまとともに歩む』を合い言葉に精進してまいります。(管理栄養士 松本 英子)

## 新人紹介



看護助手  
山本 順子 (やまもと じゅんこ)

【趣味・特技】  
★フレッシュダンス  
★テニス(軟式)

【一言】  
2年ぶりの看護助手の仕事を始めました。まだまだ役に立てませんが、頑張っていきたいと思えます。



看護助手  
梶川 智 (かじかわ ちえ)

【趣味・特技】  
★マラソン  
おかやまマラソン 2016 完走  
おかやまマラソン 2017 完走  
★旅行  
青春18きっぷによるローカル線の旅

【一言】  
看護助手の仕事は未経験なので、未知の世界で戸惑っていますが、自分なりに頑張っていきたいと思えます。



看護師 遠部 絹子 (おんべ きぬこ)

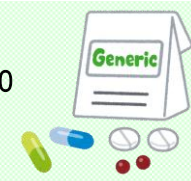
【趣味・特技】  
★お花  
★主人との夏山登山(20年余)

【一言】  
他の病院を定年退職して、もう少し内視鏡と看護師を続けたい希望がでてきました。年齢はご想像の通りですので、ご指導よろしく申し上げます。



### 「ジェネリック医薬品について」

日時:平成 30 年 4 月 13 日(金)14:00~14:10  
 講師:赤松 由紀子(薬剤師)  
 対象者:看護師  
 内容:ジェネリック医薬品変更のメリット、  
 変更作業の流れ、変更後の注意点



薬剤部では4月から院内で使うお薬のジェネリック医薬品への切り替えを進めています。

切り替えにあたり、4月13日に院内で看護師を対象としたジェネリック医薬品の勉強会を開催しました。医療費の削減のために、スタッフ一同協力してスムーズな変更を進めていこうと頑張っています。患者様や関係者の皆様、ご協力をお願いいたします。

(薬剤師 赤松 由紀子)



## スタッフの独り言

今年で結婚して13年目、3人の可愛い娘たちに恵まれました。長女は今年から中学生になり、新しい学校生活を頑張っています。生まれた時は小さかったのが、今では私の肩位の身長となり、いずれ抜かれるのではとひやひやしています。

これから反抗期を迎え生意気になると思うけど、これも成長に必要な発達段階...いずれ年を取った時にはいい思い出になってくれるのではと思います。

私も娘たちの成長に負けられないよう、少しずつ成長していければなあと思っています。

作業療法士 武智 大輔



## 栄養部からのお知らせ

最近『食欲がない』『痩せてきた』『よく転けそうになる』などと感じることはありませんか?

もしかしたら「サルコペニア」かもしれません。サルコペニアとはギリシャ語の「筋肉」を表す(サルコ)と、喪失を表す(ペニア)を組み合わせた言葉で、筋肉量が減少し、筋力や身体機能が低下している状態を言います。高齢者の場合、体力の低下や食事量の減少が続くと、要介護状態に陥る可能性があります。

お気軽に医師・医療スタッフにご相談下さい。必要な食事は年齢・体格・病気などによって異なりますので、管理栄養士が患者さまにあった栄養のアドバイスをさせていただきます。

管理栄養士 松本 英子